

海洋ごみ問題という共通の課題を抱える本県と釜山広域市等の高校生やNPO等が、海岸清掃やワークショップを通じて両国の海洋ごみの現状を認識し、若い世代が今後の発生抑制対策について意見を交わし、海洋ごみ削減への取組を推進していくことを目的とする。

2018年度事業の概要

開催日: 2018年7月14日～15日

開催地: 長崎県五島市

参加者: 釜山広域市24名

対馬市15名、壱岐市10名、五島市49名、新上五島町14名、長崎市40名
(スタッフ含む)

7月14日: 海岸清掃

基調講演、事例発表

ワークショップ

7月15日: 宣言案討議、採択

海岸清掃の様子



ワークショップの様子



集合写真



【ナナ宣言】

2018年7月13日から15日まで、五島に集まった日本と韓国の参加者、特に長崎県と釜山市から参加した高校生は、海洋ごみによる環境汚染の現状、特にマイクロプラスチックなどの石油製品における問題の深刻さを認識し、日韓共通の取組として、以下に掲げる取組を積極的に進めることを宣言する。

1. 個人の取組
2. 高校の取組
3. 地域で協力して行う取組
4. 日本と韓国が交流を行う事業

海ごみ交流事業（宣言文）

<2017海ごみ交流事業宣言文>

“各国の参加者が協力して以下に示す行動を行う事を宣言する”

1. 海洋ごみの現状や活動内容をSNS等のメディアを使って多くの人々に知らせる。
2. 清掃活動や広報活動を継続し、各国が交流する機会を増やす。
3. プラスティックの便利さに負けず、プラスチック製の廃棄物発生抑制する為の取り組みを考えていく。
4. 「海の日」を「海ごみの日」とする。

<日韓環境クリーン海洋ごみ削減五島八朔鼻ナナ宣言> (ナナ宣言)

2018年7月13日から15日まで、五島に集まった日本と韓国の参加者、特に長崎県と釜山市から参加した高校生は、海洋ごみによる環境汚染の現状、特にマイクロプラスチックなどの石油製品による問題の深刻さを認識し、日韓共通の取組として、以下に掲げる取組を積極的に進めることを宣言する。

(1) 個人の取組として、自分からごみを捨てない、水筒・マイボトルを持ち歩く(ペットボトルを使わない)、レジ袋の不使用、ごみの持ち帰り、〇使い捨てのものを使わない、〇個人でごみ拾いをする、ボランティア活動に参加する、SNS等で情報発信する、などを実行する。

(2) 高校の取組として、学校で再生紙を使う、ペットボトルのふたを回収する、分別を徹底し分別しなければ教育的指導、〇海ごみ教育を徹底する、学校周りの清掃などボランティア活動をする、などを実行する。

(3) 高校、非営利団体が地域で協力して行う取組として、現状を知って広報活動などで呼びかける、特に〇高校生と非営利団体が協力して小学校や中学校などに海洋問題の深刻さを教え、地域の活動に参加すること呼びかける、地域ぐるみで清掃活動をする日を設定する、レジ袋を廃止する、地域ごとのコンテストを行う、〇地域のゴミ箱を増やす、不法投棄禁止を強く呼びかける、(テコンドー用の)板割り用のリサイクル可能な板をつくる、などを実行する。

(4) 日本と韓国が交流して行う事業として、両国の政府と地方自治体に対して、デポジット制度の導入と拡大、日韓の企業間の協力、国際ワークショップの開催、交流事業の釜山開催、偉い人がお手本を示す、有名人による発信、いらぬものを作らない、ごみ回収ロボットの製造、〇環境に良いプラスチックの製造などを呼びかけるとともに、ごみを減らす活動、〇日韓対抗ごみ拾い大会、〇海岸清掃エコツアー、などを実施する。